

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	40%	60%	0%	
	2	職員の配置数は適切であるか	40%	60%	0%	・利用希望は増えているのに職員の人数がみつからない時があるため、リクルートをかけていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	70%	20%	10%	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	80%	10%	10%	半期に1回目標設定シートを元に代表者と面談している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	80%	20%	0%	過去に実施した
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	70%	30%	0%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	80%	20%	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	60%	30%	10%	スパーク運動療育のOJT研修を受けている（東京・新潟で実施）
適切 な 支 援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成	90%	10%	0%	日々のアクションプラン・送迎時に親御さんからヒアリングした内容を共有し取り組んでいる。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	個別支援計画書・フェイスシートを使用し、職員間で日々共有している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	90%	10%	0%	アクションプランを日々立案している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	90%	10%	0%	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	80%	20%	0%	休日には電車ツアーなど家族イベントを実施や、集団活動ではお買いものイベントを実施
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	アセスメントによって、個別活動・集団活動を分けて実行している

の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	朝礼時に共有
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	終礼時に共有
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	提供記録・アクションプラン・日報によって共有を図っている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	90%	10%	0%	親御さん参加の療育では日々の様子をヒアリングし見直しを図っている。集団では送迎時に日々の様子を聞き取り組んでいる。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	40%	60%	0%	自立支援により、意欲的に関わられるような遊びを提供していることや、フィールド（野外）活動など自然と関わる機会なども設けている。また、同敷地内に高齢者のデイサービスなどがあり、地域との関わりも行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80%	10%	10%	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	60%	30%	10%	月間スケジュールを調整した後、FAX・TELにて確認。その際学校にも連絡を入れ調整している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	20%	60%	20%	主治医と面談したケースはあるが、基本的には必要がある児童は通所していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	30%	60%	10%	情報提供を行ない、就学時の流れを円滑に進められるよう伝えている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0%	40%	60%	該当なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50%	30%	20%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	30%	30%	40%	放課後児童クラブや児童館との交流は少ないが、おでかけツアーやフットサルイベントで兄弟参加を実施するなど、障がいのない子どもと活動を共にする機会はある。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	10%	60%	30%	
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	70%	30%	0%	療育時、送迎時に連絡帳を使用し、共通理解を持っている。	

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	60%	30%	10%	個別療育では、親御さん参加が基本であり、その子に応じた関わりを伝えている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	80%	10%	10%	体験時・契約時・受給者証更新の際説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	30%	40%	30%	親子参加型イベントを実施し関わりは持てたが、直接的な関わりは少ないため、今後開催していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	20%	0%	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	80%	20%	0%	お便りを作成し、発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	80%	20%	0%	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	90%	10%	0%	情報伝達のため、相談事業所、学校の先生と連携している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	20%	50%	30%	夏のイベント時に、地域住民へチラシを配布し招待したことがある。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	30%	40%	30%	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	40%	20%	40%	年に二回実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	20%	50%	30%	褒めることにフォーカスを当てているので褒め方・関わり方を伝える研修会を実施
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	40%	20%	40%	対象者なし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	50%	40%	10%	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	90%	10%	0%	発生した時点で記録・保管している